

ギター界のレジェンド、
デビュー55周年を記念する

渾身のステージ

喜寿 & デビュー55周年記念

莊村清志 ギターリサイタル



©Hiromichi NOZAWA



©Takemura Kuraji

長崎公演

莊村清志～喜寿&デビュー55周年 山口修～古希記念

莊村清志 & 山口修 ジョイントコンサート

2025年 6月28日(土) 14:30開演 14:00開場

長崎市民会館文化ホール

長崎市魚の町5-1 095(825)1400

入場料：一般前売3,000円 当日3,300円 学生(高校生以下)無料

主催・問合せ：音楽小屋095(807)4836 ongaku-goya2002@mxb.cncm.ne.jp

莊村清志～喜寿&デビュー55周年

福岡公演 莊村清志 ソロリサイタル

2025年 6月29日(日) 13:30開演 13:00開場

あいれふホール 福岡市中央区舞鶴2-5-1 福岡市健康づくりサポートセンター10F Tel.092-751-2827

入場料：全席指定 前売3,850円 学生2,200円 当日各550円増
フォレストヒルミュージックアカデミー生徒は各1割引



主催・問合せ：フォレストヒル音楽工房 Tel.092-715-3828 info@foresthill-morioka.com



チケット予約：フォレストヒル音楽工房

後援：福岡市・(公財)福岡市文化芸術振興財団

荘村清志 ギターリサイタル

Program

長崎公演

荘村清志 Solo

作者不詳(キレゾッティ編)：ルネサンスリュートの為の6つの小品
J.S.バッハ：「シャコンヌ」無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番 BWV1004より
カタロニア民謡(M.リョベート編)：盗賊の唄、聖母の御子
A.パリオス：郷愁のショーロ

山口 修 Solo

H.アジャラ：「タキラリ」「グアラニア」「ガトとマランボ」「南米組曲」より

荘村清志&山口 修 Duo

F.ソル：アンクラージュマン Op.34
E.モリコーネ(鈴木大介編)：ニュー・シネマ・パラダイス
E.グラナドス(片山広成編)：オリエンタル
M.デ・ファリヤ(E.ブジョール編)：「スペイン舞曲第1番」「はかなき人生」より

福岡公演

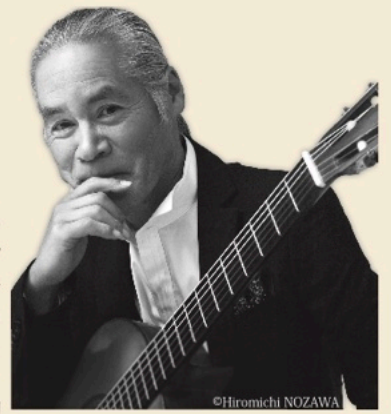
荘村清志 Solo

賢王アルフォンソ10世：聖母マリア頌歌集
作者不詳(キレゾッティ編)：ルネサンスリュートの為の6つの小品
F.ソル：マルポローの主題による変奏曲 Op.28
J.S.バッハ：「シャコンヌ」無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番 BWV1004より
H.ヴィラ=ロボス：「5つの前奏曲」より 第1番、第3番
A.ラウロ：ベネズエラ風ワルツ 第3番
カタロニア民謡(M.リョベート編)：盗賊の唄、聖母の御子
A.パリオス：郷愁のショーロ
A.ルイス=ピポー：歌と舞曲 第1番
J.イルマル：バーデン・ジャズ組曲

※曲目は変更となる場合がございます

荘村清志 (ギター)

9歳よりギターを始める。1963年に巨匠イエベスに認められ、翌年スペインで師事。1969年の日本デビューで、「テクニック、音楽性ともに第一人者」との高い評価を得た。71年には北米で28に及ぶ公演を行い、国際的評価を不動のものにした。74年にはNHK教育テレビ「ギターを弾こう」に、2007年にもNHK教育テレビ「趣味悠々」にそれぞれギター講師として登場し、日本ギター界の第一人者としての存在を強く印象づけた。08年ビルパオ交響楽団の定期演奏会に出演。同団とは《アランフェス協奏曲》を録音、09年にCDをリリースした。15年にはイ・ムジチ合奏団と共演、録音も行った。



©Hiromichi NOZAWA

2017年からギターの様々な可能性を追求する「荘村清志スペシャル・プロジェクト」(全4回)に取り組み、さだまさし、coba、古澤巖、錦織健らと共演し、ジャンルの垣根を越えたコラボレーションが話題となる。最終回では、cobaに委嘱したギター協奏曲も演奏し、注目を集めた。2020年、朝日新聞の連載「人生の贈りもの」をまとめた書籍「弾いて飲んで酔いしれて ギターとともに50年」(吉田純子編著)を出版。22年にはcoba編曲による世界のポップス名曲選「ゴッドファーザー～愛のテーマ」をリリース。

現代のギター作品を意欲的に取り上げるだけでなく、日本人作曲家に多数の作品を委嘱、初演するなど、ギターのレパートリー拡大にも大きく貢献している。特に武満徹には74年に「フォリオス」、93年に「エキノクス」を委嘱、77年荘村のために編曲された「ギターのための12の歌」を初演・録音、96年には「森のなかで」を全曲初演している。現在、東京音楽大学特任教授。2024年にデビュー55周年を迎えた。

今回のデビュー55周年記念リサイタルは、2019年にフォレストヒル音楽工房主催で開催したデビュー50周年記念公演以来、6年ぶりとなる待望の福岡公演である。

今回のデビュー55周年記念リサイタルは、2019年にフォレストヒル音楽工房主催で開催したデビュー50周年記念公演以来、6年ぶりとなる待望の福岡公演である。



©Takemura Kurou

山口 修 (ギター)

長崎市出身。山下亨、小船幸次郎、A.ディアス、J.トーマスの各氏に師事。第14回九州ギター音楽コンクール優勝。第14回日本ギターコンクール第2位。スペイン給費留学生として、渡欧。フランス・アルル国際音楽祭グランプリ。スペイン・ラミレス国際ギターコンクール及びイタリア・アレクサンドリア国際ギターコンクールで日本人初の第1位。ベネズエラ・アリリオ・ディアス国際ギターコンクール第2位(1位空位)入賞。

17歳で長崎デビューリサイタル。東京文化会館小ホールでリサイタル。九州交響楽団との共演による一晩で3曲のギター協奏曲の夕べ「山口修、青春の協奏曲」はNHKテレビで放送。オランダ・ミデルブルグ、オランダ音楽祭「日本の祭り」で邦人作品ばかりのリサイタル、翌年にはオランダ6都市リサイタルツアー。ミュンヘンバッハ合奏団、イタリア合奏団、ジャパンレディースオーケストラ、九州交響楽団、ニューオーケシオンフィニッシュアンサンブル等と共演。日本フィルハーモニー交響楽団とは故渡邊暁雄指揮「日本フィルハーモニー交響楽団京都公演」で初共演後、九州から北海道、オランダコンサートヘーボ公演に至る全国約80会場共演。

CD「シャコンヌ」(フォレストヒルレコーズ)はレコード芸術誌にて特選盤となる。「バッハ無伴奏チェロ組曲全6曲連続演奏会」を長崎と大村で開催。47年間プロデュースをしている長崎記念病院さわやかコンサートは360回を数える。長崎市政功労者表彰、長崎旅博覧会特使、長崎県地域文化章特別賞、長崎県民表彰特別賞を受賞。FM長崎「日曜音楽館」パーソナリティ。九州ギター音楽協会会長。

Access

長崎市魚の町5-1 Tel.095-825-1400
JR長崎駅より車で4分
路面電車3番系統蛸茶屋行「市役所」電停すぐ



福岡市中央区舞鶴2-5-1
Tel.092-751-2827
地下鉄赤坂駅より徒歩4分

